

世田谷の農地を活かす

—農・食・住—

11月7日(土) 13:00~17:00

主催：財団法人 住宅総合研究財団 協力：日本食育学会

住総研江戸東京フォーラムでは、地域に織り込まれた歴史的・文化的意味や地域特性を掘り起こすというテーマのもとに、地域の活動を取り上げている。

今回は、世田谷区の「農」「食」「住」に焦点をあてる。世田谷区には公園や住宅地の緑をはじめ多くの緑があるが、農地はとりわけ貴重な緑である。都市のなかで残存する都市農地は、地域の食を供給する場のみならず、環境教育の場、生き物の生息空間、土の匂いや匂いの風景、文化的景観の価値、伝統文化の継承など、多く機能がある。また、最近、農地を囲んだ集合住宅で、居住者が農地を共有し、そこをコミュニティの場とする新しいスタイルの暮らし方も見られる。

本企画は、まず、「農の体験」について、日本食育学会と共同の講演があり、その後、各事例の発表がある。そして、パネルディスカッションでは、都市農地の意義と役割、課題について考え、都市農地を生かした地域環境づくりに向けて幅広く議論をしていきたいと考えている。

I部 13:00~14:00 東京農業大学 17号館 百周年記念講堂(日本食育学会会場)

●講演(日本食育学会と共同)：進 士 五十八 (東京農業大学)

II部 14:20~17:00 東京農業大学 1号館 4階 メディアホール

●発表／パネルディスカッション：

大塚 信 美 (大塚農園)

長谷川 満 (大地を守る会)

斉藤 幸 夫 (世田谷区産業政策部都市農業課)

藤岡 泰 寛 (横浜国立大学)

●コメンテータ：陣内 秀 信 (法政大学)

●コーディネータ：入江 彰 昭 (東京農業大学)

■会 場：東京農業大学 I部:17号館／II部:1号館
東京都世田谷区桜丘1-1-1

<http://www.nodai.ac.jp/access/kyodo.htm>

■会 費：無料

■定 員：300名。申込順。受付者には参加票送付・送信

■締 切：11月3日(火)



■参加申込：WEBの申込フォーム(http://www.jusoken.or.jp/edotokyo_form.htm)、あるいは、住総研江戸東京フォーラム参加希望とし、①氏名・ふりがな、②所属、③住所、④電話・FAX・E-mail、を明記して、FAX か葉書でお申込み下さい (申込時の個人情報から、当財団の催し等の案内をする場合もあります。希望されない方は、お知らせ下さい)

■問 合 せ：(財)住宅総合研究財団江戸東京フォーラム担当
Tel. 03-3484-5381 Fax. 03-3484-5794

〒156-0055 東京都世田谷区船橋4-29-8
<http://www.jusoken.or.jp/edotokyo.htm>